

## 会 議 録 (概要)

会議の名称	令和元年度 第2回 佐渡市建造物保存活用に関する専門家会議
開催日時	令和元年12月27日(金) 13時00分開会 16時30分閉会
場所	表参道・新潟館ネスパス 展示・交流スペース
議題	(1) 報告事項 1) 大立堅坑捲揚機室の地質解析等調査結果について 2) 大立堅坑槽下部貯鉱庫の調査結果について (2) 審議事項 1) 重要文化財の修理の取扱い方針について
会議の公開・非公開 (非公開とした場合は、その理由)	議題(1)を公開とし、(2)は非公開とする (佐渡市情報公開条例第7条に定める公開しない情報について 質疑及び意見聴取を行うため)
出席者	参加者 有識者 5名 オブザーバー 4名 文化庁文化資源活用課 文化財調査官 北河 大次郎 文化財活用専門官付 加藤 元康 新潟県教育庁文化行政課世界遺産登録推進室 政策企画員 小田 由美子 専門調査員 三ツ井 朋子  事務局 4名 世界遺産推進課 課長 坂田 和三 課長補佐 下谷 徹 調査係 係長 宇佐美 亮 技師 田井 沙保里  事業受託者 8名  <span style="float: right;">計 21名</span>
会議資料	—
傍聴人の数	0人
備考	

会議の概要（発言の要旨）

発言者	議題・発言・結果等
坂田課長	1 開会あいさつ
	2 意見聴取及び報告事項
(1) 報告事項	
田井技師 事業受託者	1) 大立竪坑捲揚機室の地質解析等調査結果について事務局より説明を行う。解析未了なデータもあるため、本会議では中間報告を行う。 ・大立竪坑捲揚機室上部岩盤の透水性について ・今後の止水対策工事の展望について ・覆工コンクリートの岩着範囲について
有識者	○質疑（概要）
事業受託者	・本年度の調査ボーリングにおいて、覆工コンクリートは全て岩着していなかったが、全域で同様な状態なのか。また、それに伴い補修方法に支障は出ないのか。 (回答) 調査ボーリングでは岩着していない状況だが、全域が同様な状態とは言い切れない。今後の詳細調査が必要。また、補修方法については、現段階では大きな方針転換は無い見込みである。
田井技師 事業受託者	2) 大立竪坑櫓下部貯鉄庫の調査結果について事務局より説明を行う。解析未了なデータもあるため、本会議では中間報告を行う。 ・下部貯鉄庫立ち上がり基礎について ・鉄骨の破損状況について
有識者	○質疑（概要）
	・特に意見なし
(2) 審議事項	
田井技師 事業受託者	1) 重要文化財の修理の取扱い方針について事務局より説明を行う。

有識者	○質疑・意見聴取（概要） ・大立堅坑櫓及び下部貯鋳庫の地盤対策、大立堅坑捲揚機室の覆工コンクリートの補修方針、高任粗砕場の取外し部材の取扱い方針について、質疑及び意見聴取を行った。
田井技師	3 その他 ・次回会議は、令和2年3月24日に東京において開催する。
宇佐美係長	4 閉会